

# 21PO-pm429

## 聖マリアンナ医科大学・昭和薬科大学における多職種連携教育の試み

○太田 有紀<sup>1</sup>, 廣澤 伊織<sup>2</sup>, 渡部 一宏<sup>2</sup>, 廣原 正宜<sup>2</sup>, 濱本 知之<sup>2</sup>, 宮崎 美子<sup>2</sup>, 望月 篤<sup>1</sup>, 信岡 祐彦<sup>1</sup>, 松本 直樹<sup>1</sup> (1聖マリアンナ医大, 2昭和薬大)

【目的】近年、より質の高い医療を実現するために、チーム医療がますます重視されるようになった。医療職を養成する教育機関においても、学生にチーム医療の必要性を理解させるために「多職種連携教育 (IPE)」が導入されつつある。平成 30 年度、聖マリアンナ医科大学と昭和薬科大学とが連携して IPE を開始したので報告する。

【方法】平成 30 年度、聖マリアンナ医科大学 4 年生 123 名および昭和薬科大学 4 年生の一部 164 名の計 287 名を対象とした。IPE プログラムは、医学部生 3-4 名、薬学部生 4-5 名の計 7-8 名を 1 グループとし、模擬症例を用いたスモールグループディスカッション、その後、発表会を行った。IPE 終了時に、医学部生、薬学部生ならびに当日 IPE を担当した両学部教員に対してアンケート調査を実施し、回答の解析を行った。

【結果および考察】88%が 4 年次での実施を「ちょうど良い」と、また、89%が IPE は「必要」と回答した。「積極的に意見を出せた (出していた)」とする回答は 96%、他学部生と (ある程度) コミュニケーションが取れた (取れていた) とする回答は 99%であった。今後、医学・薬学以外の学部生も加えることについては、肯定的な回答が得られた。一方で、課題の難易度については 33%が「難しい」と回答しており、教育プログラムの作成については今後の課題と考える。

単科大学が IPE に取り組むことは簡単ではないが、チーム医療の重要性について 89%が「理解できた」との回答につながったことから、今後も複数大学の連携を継続し、IPE の充実を目指したい。